

# 生ごみをすべて分別すれば、3億6千万円が節約される！

富良野市に比べて北広島市の分別収集と資源化が見劣りしていることは否めません。家庭の生ごみの分別収集率はわずか40%、事業系はほとんどゼロに等しく、残りの生ごみは埋め立て処分されています。

当会が廃棄物処理に関するデータを分析してみたところ、驚くべき数値が出てきました。

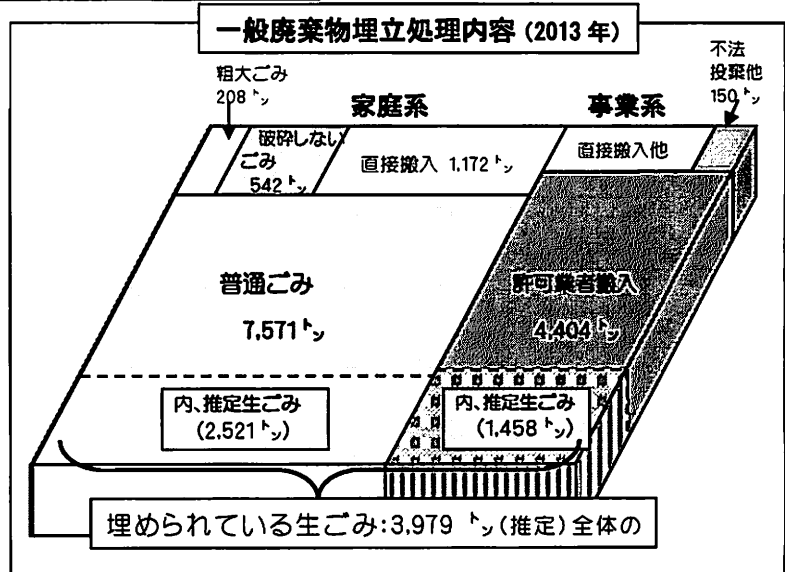
**もしも現在埋め立てられている生ごみをすべて分別して埋め立て量を減らせば、最終処分場が満杯になるまでの期間が3年半延びて、3億5900万円も節約されるのです。**

右図は、生ごみや資源を分別収集した後の、一般廃棄物の埋め立て状況です。

## 埋立処分される生ごみ

ご承知の通り、生ごみは黄色い袋で分別すると、バイオガス化施設「あしる」に運ばれ、メタンガスや堆肥になり資源として活用されます。

しかし、実際は生ごみの半分以上はピンクの普通ごみ用の袋に入れられて埋め立て処分されています。また、事業系の生ごみはほとんど分別収集されていません。



埋め立て処分されている生ごみは、全体の26%にもなります。

## 埋立処分場の状況

埋め立て処分場は第5期最終処分場が間もなく一杯となり、来年9月からは第6期処分場に埋め立てられます。第6期処分場の埋め立て量は17万立方メートルで、稼働年数は予定では10年。造成費用は10億2600万円です。

(2015年)

## 生ごみを分別して、埋め立て処分のごみ量を減らすと...

現在埋め立てられている生ごみを全て分別すると、埋立量26%削減になり、最終処分場が3.5年延命化されることとなります。すると、 $10億2600万円 \div 10年 \times 3.5年 = 3億5900万円$ の経費削減になります。

また、生ごみの80%の分別でも、2.7年延命して削減額は2億7700万円です。

さらに、生ごみを埋め立てないことで、埋立処分場から発生する地球温暖化ガスも削減されます。(発生するメタンガスは温室効果が二酸化炭素の21倍です)

## 生ごみの分別徹底で、さらなる資源の生産に(メタンガス・堆肥)

分別効果はこれだけではありません。分別回収された生ごみからはメタンガス(消化ガス)が生成され、燃料として活用されます。重油換算で年間330キロリットルもの資源に蘇るのです。もちろん生産される堆肥の量も増えます。

逆に言えば、今の私たちは生ごみを分別しないことによって、億単位のお金をどぶに捨てているということです。